

【問 題】

今日では、交通や通信手段の発達などにより、生活圏や経済圏が広域化し、大気汚染、交通渋滞などの都市問題も広域化しています。このような都市問題を根本的に解決するには、都が単独で取組を進めていくことだけでは限界があります。東京が抱えている都市問題に対する取組を進めていくために、都はどうすればよいか、あなたの考えを述べてください。

【解答例】

東京都は行政区画としては必ずしも広い地域ではないが、一方で東京都市圏は東京都の行政区画をはるかに越える広がりを持っている。東京都以外に居住しながら東京都に通勤・通学する人々は多数おり、また東京を支えるライフラインを維持していくためには東京都以外の地域におけるライフラインのインフラ整備は欠かせない。さらに、排ガス・煤煙などの都市型環境問題は行政区画を超えて起きている。このように、大都市としての東京都市圏は行政区画としての東京都を越えて広がっていることを考えると、大都市としての東京の抱える様々な問題を解決する上で、東京都が単独で行うことのできる施策にはそもそも限界があり、東京都市圏に属する他の自治体との協力、国、民間事業者との協力が必要となる。

特に他の自治体との協力は、広域にわたる東京都市圏の諸問題を解決していく上で欠かせないものである。現在、東京都のほか神奈川県、千葉県、埼玉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市の首長による八都県市首脳会議が設けられ、この下で廃棄物、環境、防災・危機管理の面における八都県市の協力が進められている。例えばディーゼル車の排出ガスの規制は東京都だけで実施しても効果は薄いですが、八都県市が協力して実施することで東京圏全体で二酸化窒素や浮遊粒子状物質の排出を抑え、大気汚染の改善を進めていくことが可能となっている。今後とも、八都県市の協力により東京圏の抱える様々な問題に取り組んでいくべきである。

その一方、地方自治体だけでは十分に解決することのできない問題に関しては国と協力して取り組んでいくことが求められる。例えば現在の道路体系は各地方から東京に集中するように造られているため、東京を通過するだけの自動車であっても都心を通らざるを得ず、その結果都心部の交通渋滞が慢性化している。この問題の根本的な解決のためには東京都心部を迂回する三環状道路などの広域にわたる道路整備が必要であるが、高速道路や国道の整備は国が主体となって行わざるを得ない。東京都としては、わが国の頭脳・心臓部である東京の抱える問題を解決していくことがわが国の活性化にも大きく貢献することをアピールし、東京圏の抱える問題を積極的に解決していくよう働きかけ国の施策に協力していくことが必要となる。

最後に、東京都だけで対応できない問題に関しては、広い地域で事業を行っている民間事業者との協力も無視することはできないだろう。東京を支えるライフラインには電気やガス、鉄道、生活必需品の流通など民間事業者が提供しているものも多い。こうした東京都以外の地域でも活動する民間事業者と協力していくことで、東京都単独では取り組みが難しい広範囲の都市問題に有効に対処してい

くことができると考えられる。

このように、東京都は行政区域を超える東京都市圏全体の問題について、近隣自治体や国、広範囲で事業を行っている民間事業者と積極的に協力して取り組んでいくことで、解決していくことが可能になると私は考える。

以 上